



Title	【資料】鷺宮・幸手「まちおこし」年表（2004～2009）～鷺宮町と幸手市における地域振興の展開経緯～
Author(s)	山村, 高淑; 岡本, 健; 松本, 真治; 坂田, 庄巳; 山内, 正明
Citation	第6回観光創造フォーラム当日配布資料, 1-4
Issue Date	2009-07-18
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/38952
Type	lecture
Note	第6回観光創造フォーラム「情報社会における新たな観光資源の創造～鷺宮・幸手で考える次世代型観光まちづくりの可能性～」. 平成21年7月18日. 鷺宮町.
File Information	chronology_of_community_development_in_Washimiya_and_Satte.pdf



[Instructions for use](#)

【資料】鷺宮・幸手「まちおこし」年表（2004～2009）

～鷺宮町と幸手市における地域振興の展開経緯～

（製作）山村高淑¹・岡本健²・松本真治³・坂田庄巳⁴・山内正明⁵

年月	主な出来事
2004～2006年	
2004年1月	角川書店の月刊ゲーム雑誌「コンプティーク」に4コマ漫画「らき☆すた」連載開始。
2004年4月	鷺宮神社鳥居横にある古民家を鷺宮町商工会長が門前町活性化につながればと改修事業を立ち上げる。
2005年3月	鷺宮神社横の古民家改修完了。「大酉茶屋」としてオープン。
2007年	
4月	アニメ「らき☆すた」テレビ放送開始（～9月）。オープニングの一部に鷺宮神社の鳥居と大酉茶屋が風景として柊かがみとともに描かれる。 ファンが鷺宮神社へひっそりと訪れ始める。
5月	5月4日、らき☆すたTVアニメ化記念FanBook「おっかけ！セーラーふく」（同人誌）が発行され、鷺宮町を含むアニメのロケ地が紹介される。
7月	『月刊ニュータイプ』（角川書店）8月号の付録「らき☆すた」的遠足のしおり」（両面ポスター）にて鷺宮神社が作品の舞台であると紹介される。 このころからファンが鷺宮神社へ大勢訪れるようになり、キャラクターを描いた絵馬を奉納したり、写真撮影をしたりする様子が多く見られるようになる。 隣接する久喜市在住者のホームページに「オタクの人が鷺宮神社に集まっていて治安が心配」との書き込みがある。これを見た産経新聞が鷺宮町商工会に取材。その記事がインターネットニュースに掲載される。 こうした状況を受け鷺宮町商工会事務局が、神社で来訪者にヒアリングを開始。のちにボランティアスタッフのリーダーとなる人物と出会う。
8月	報道された絵馬や神社の様子を見に、アニメファン以外の来訪者も増える。 鷺宮町商工会事務局スタッフ、2ちゃんねるの「神社OFF」のスレッドにて鷺宮土産のあり方などについての意見を求める。
9月	アニメ「らき☆すた」テレビ放送終了。 鷺宮町商工会事務局、アニメ「らき☆すた」について調査、角川書店に連絡を取る。企画書を作成し、角川書店へ持っていくことに。
10月	鷺宮町商工会事務局スタッフ、同会副会長の三名が角川書店本社にて打合せ。角川書店側から、鷺宮町でイベントを開催してはどうか？アニメの舞台となっている鷺宮・幸手・東武電鉄を含めた形で町おこしとして展開できないか？との提案がある。鷺宮町商工会、これを幸手市商工会に提案。 上記の提案を受け、幸手市商工会でも「らき☆すた」で町おこしに取り組みことを決定。

¹ 北海道大学観光学高等研究センター

² 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

³ 鷺宮町商工会

⁴ 鷺宮町商工会

⁵ 幸手市商工会

12月	<p>12月2日、イベント「らき☆すた」のランチ&公式参拝 in 鷺宮（企画：らっきー☆ばらだいす、主催：鷺宮町商工会、鷺宮町商工会青年部）を開催。3,500人が参加。</p> <p>12月3日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第一次販売。鷺宮町内17店舗で計1,000個を販売、開店30分で完売。</p> <p>「鷺宮町平成19年歳末大売出し」（12月1日～9日）のスクラッチカードに「らき☆すた」のキャラクターが使用される。</p> <p>「幸手市商工会歳末大売出し」（12月1日～9日）の抽選券に「らき☆すた」キャラクターが使用される。らき☆すたファンのために「らき☆すた」レアグッズが当たる「こなたチャンス！」を実施。</p> <p>12月20日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第二次販売。鷺宮町内43店舗で3,000個を販売、開店1時間で完売。</p> <p>らき☆すたTVアニメおつかれさま舞台紹介 Fan Book 「「おっかけ！セーラーふく」2007まとめ」（同人誌）が発行され、舞台となった場所が詳細に紹介される。</p> <p>この頃から新聞等メディアで鷺宮町が盛んに取上げられるようになる。</p>
2008年	
1月	<p>正月三が日に鷺宮神社を訪れた参拝者が前年比17万人増の30万人に（埼玉県警地域課まとめの数値）。</p> <p>鷺宮町商工会、「らき☆すた」ファン向けのグッズを正月用に用意。グッズを求めるファンのために大晦日・正月と商店街が店を開ける。原作者及びアニメーションキャラクターデザイナーの描き下ろし「らき☆すたポストカード」を商店街で販売する。</p> <p>近畿日本ツーリスト株式会社担当者が鷺宮町商工会を訪問。4月の「イベントアクセスツアー」について討議。</p>
2月	2月10日、「桐絵馬形携帯ストラップ」第三次販売。鷺宮町内60店舗で8,500個を販売。
3月	<p>幸手市商工会が「らき☆すた桜花びら型携帯ストラップ」全8種類を販売開始。</p> <p>純米酒「豊明」（石井酒造株式会社、幸手市）らき☆すたラベルの販売を開始。</p> <p>幸手市共通商品券「らき☆すた初回限定フルコンプセット」の販売開始。</p> <p>幸手市内街路灯530本中250本に「らき☆すた」キャラのイラスト入りプレートを設置。</p> <p>3月30日～4月6日、鷺宮町商工会・幸手市商工会と共同でファン対象大売出し「ラッキー☆SALE」を開催。</p>
4月	<p>4月1日、「らき☆すた」登場人物の柊かがみ・つかさ姉妹とその一家（計6名）を1日付で、鷺宮町に特別住民登録。</p> <p>4月6日、「大西茶屋3周年市「らき☆すた」感謝祭」の開催（企画・主催：鷺宮町商工会）。町行政との協力により、柊かがみ・つかさ役の声優二人を招き「鷺宮町特別住民票交付式」を行う。これに引き続き、柊一家の特別住民票をファンに先行頒布。</p> <p>同日、鷺宮神社境内にて声優白石稔氏を招きファン参加型イベントを開催。合計4,000人が参加。</p> <p>同日、近畿日本ツーリストと協力し「イベントアクセスツアー」を実施。</p> <p>4月7日、鷺宮町、柊一家の特別住民票を1枚300円にて頒布。1万枚の限定発行。</p> <p>4月6日～、鷺宮町内12店舗が参加して「らき☆すた飲食店スタンプラリー」を開催。同スタンプ台紙、完食者景品に「らき☆すた」のキャラクターを使用。</p>
6月	この頃、土師祭典会の会長から鷺宮町商工会に、「らき☆すた」ファンがこの秋の土師祭へ参加してはどうかという提案がある。
7月	<p>7月1日、鷺宮町商工会と北海道大学観光学高等研究センターが共同研究「メディアコンテンツと観光振興（まちおこし）のあり方に関する研究」を開始。</p> <p>7月6・7日、大西茶屋ならびに鷺宮神社駐車場で、鷺宮町商工会主催で七夕イベントを実施。同時に同商工会は神社通り商店街周辺に設置されたフィギュアを探すイベント「俺の嫁を探せ！」を実施。</p> <p>7月上旬、商工会は大西茶屋にて「らき☆すたの郷」と記された携帯電話用スクリーンシートを600円で販売開始（2種、各250個ずつ販売）。</p>

8月	<p>8月9日、「終一家特別住民票」10,000枚を完売。</p> <p>8月上旬、土師祭興会が9月に行われる土師祭において「らき☆すた神輿」を登場させることを決定。商工会ホームページならびに大西茶屋ほか町内にて担ぎ手100名募集を告知。3日間で114名の申し込みがある。</p> <p>純米酒「豊明」らき☆すたラベルの予約受注開始。非売品の鷺宮・幸手バージョンのストラップが当たるスクラッチを実施。</p> <p>幸手市商工会、らき☆すた原作者自宅公開の企画を開始。</p>
9月	<p>9月初旬、鷺宮町、総事業費300万円で神社通り商店街に街路灯を40基新設。</p> <p>9月7日、土師祭にて「らき☆すた神輿」登場。120人以上が担ぎ手として参加。</p> <p>9月9日、らき☆すた神輿、鷺宮町郷土資料館に展示される。10月1日現在展示中。</p> <p>9月7日、らき☆すた舞台探訪&町おこし応援FanBook「らき☆すたうおーかー」(同人誌)が発行される。</p> <p>9月24日、「らき☆すた飲食店スタンプラリー」(4月6日から開催)を終了。のべ642人がスタンプラリーを完遂。12店舗合計で約600万円の売り上げ。</p> <p>9/14「らき☆すたOVA発売記念イベント in シネプレックス幸手」～あなたも幸手に来なさって!」開催。</p> <p>第1回幸手市商工会「ミッションこんぷり～と大作戦」開催。</p> <p>9月26日、らき☆すたOVA発売。</p>
11月	<p>11月5日～12月7日、「鷺宮&萌え川柳☆狂歌コンテスト」を実施(WEBサイト応募、大西茶屋設置の応募箱による応募、鷺宮町商工会への郵送による応募)。WEBサイト応募392通、大西茶屋応募370通の計762通が集まる。</p>
12月	<p>12月20日～28日、「LUCKY☆SALE」実施。「ハズレ」が出ても、「キャラ入りハズレ」で「らっきー☆ポーカー」のチャンス。</p> <p>12月31日21:00～、「行く年来る年鷺宮絵馬市」開催。らき☆すた絵馬型ストラップ全12種類を販売。</p> <p>「きまぐれスタジオ美水かがみギャラリー」企画書が角川書店から承認され、準備作業に取り掛かる。</p> <p>12月31日～1月3日、鷺宮町商工会×バンダイ「年末年始年越しガシャポン冬祭り」開催。</p> <p>鷺宮町商工会×グッドスマイルカンパニー「新年ねんぶち☆おみくじ祭り in 鷺宮」にて鷺宮限定オリジナルグッズ1万個販売。</p>
2009年	
1月	<p>1月1日、埼玉新聞特別版、大西茶屋で販売(1部100円)。</p>
3月	<p>3月3日、「鷺宮町商工会の新たな挑戦!まちおこしドラマ「鷺宮☆物語(仮題)」～あなたも一緒にまちおこし～」企画案の一般募集開始。鷺宮町商工会と埼玉県産業労働部新産業育成課との共催事業。同日、スキップシティチャンネルにて告知映像「鷺宮☆物語～序章～」の配信開始。4月末までで約12,000アクセスを記録。</p> <p>3月28日～、鷺宮町商工会・幸手市商工会と連携し、絵馬型ストラップ再販開始。ストラップ販売にあわせ「Happy Eagle コミュニティ」企画を開催。</p> <p>3月28日(土)、美水かがみ先生の旧自宅を「きまぐれスタジオ美水かがみギャラリー幸手」としてオープン。</p> <p>第2回幸手市商工会「ミッションこんぷり～と大作戦」開催。</p>
4月	<p>4月1日～、らき☆すた神輿が東武電鉄の鷺宮駅に展示される。</p> <p>4月15日～、スキップシティチャンネルにて告知映像「鷺宮☆物語～エピソード～(13分)の配信開始。☞http://www.skipcity.jp/channel/ord/washi_index.html</p> <p>4月23日、鷺宮ドラマ製作企画が、中小企業庁「地域資源∞全国展開プロジェクト」補助金助成事業に採択される。</p> <p>4月24日(金)～、「きまぐれスタジオ美水かがみギャラリー」OPEN記念「幸手市内お食事・お買い物スタンプラリーの開催」(9月末まで)</p>

5月	5月8日、「鷺宮町商工会の新たな挑戦！まちおこしドラマ「鷺宮☆物語（仮題）」～あなたも一緒にまちおこし～」企画案の一般募集終了。66通の企画案が集まる。 5月31日 「きまぐれスタジオ美水かがみギャラリー幸手」にて「こなた」の誕生日会を開催。
7月	7月5日～7日まで、地元造園業者の協力で七夕の短冊をつるすための竹を大西茶屋に設置。 7月7日、大西茶屋にてバースデーケーキを販売。「鷺宮神社間違い探し」「柎姉妹Qさん」を開催。300名が参加。 7月18日、「萌フェス in 鷺宮 2009～あなたが痛いから～」開催（鷺宮町商工会・同青年部・同女性部・幸手市商工会・春日部法人会鷺宮支部・同青年部会・同女性部会主催）。全国初の公の団体が開催する痛車イベント、飲食店の活性化を目的とした「M（萌え）級グルメコンテストー萌え度セレクションー」などを実施。「萌え度セレクション」では、弁当の掛け紙を、ゲームやアニメ業界で活躍する西又葵氏が担当することに。 7月18日、久喜警察署・久喜地区安全協会・同鷺宮支部が、角川書店と鷺宮町商工会の協力により交通安全を啓発する「らき☆すた団扇」を製作。JR東鷺宮駅にて久喜地区安全協会鷺宮支部役員が300枚配布。

（出所）山村（2008）「アニメ聖地の成立とその展開に関する研究：アニメ作品「らき☆すた」による埼玉県鷺宮町の旅客誘致に関する一考察」北海道大学国際広報メディア・観光学ジャーナル第7巻，pp. 145 -164 (<http://hdl.handle.net/2115/35084>)、をもとに、筆者らが加筆して作成。